



第142号

一般社団法人 埼玉県子ども会連合会
 発行責任者 林 昌 己
 編集 広報委員会
 事務局 さいたま市浦和区北浦和5-6-5
 埼玉県浦和合同庁舎別館内
 TEL (048) 822-8621



目次

- 第44回「彩の国21世紀郷土かるた」県大会……2、3
- 第57回関東甲信越静地区子ども会育成協議会(関東大会)……4
- 第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会(全国大会)……4
- 事務局だより……4
- 編集後記……4



おめでとうございます

令和7年度社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)受賞
 飯島孝子埼玉連副会長
 多年にわたり社会教育の振興に功労があり、また社会教育関係の団休活動に精励するなどその功績が顕著のため、文部科学大臣より表彰されました。



第57回関東甲信越静地区子ども会育成協議会(関東大会)

開催 令和7年10月19日〜20日
 会場 習志野市トーセイホテル&セミナー幕張
 関東大会は習志野市で開催されました。基調講演・パネルディスカッションのテーマは「共創する社会・地域連携と子ども会が果たす役割」でキースピーチの後、多様な立場の登壇者による熱い議論が交わされました

第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会(全国大会)

開催 令和7年11月15日〜16日
 会場 熊本城ホールビックホール他
 全国大会は熊本市で開催されました。今年度の個人表彰

子ども会は、「地域と子どもをつなぐハブになれる」「正解は一つではない。だからこそ対話が必要」など、新時代のこども会像が、立体的に描き出されました。その後、分科会に分かれて意見交換となりました。「持続可能な子ども会の挑戦」「コミュニケーションと子ども会の連携」「子ども会のためのフアンドレイジング戦略」「地域防災力と子ども会」「ICT活用による子ども会の進化」の5テーマでした。二日目に分科会報告と全体討議を行い、最後に来年度開催の群馬県に引継ぎが行われ、実りある大会が終了しました。

は川崎市子連会長の湯浅哲朗様、弘美様、埼玉連北埼玉部長の石塚繁子様です。大西一史熊本市長の「子ども会への市長の思い」という特別講演がありました。自ら子ども会活動に携わった経験から、全ての子どもたちの穏やかな成長を支える施策を通じて、地域の活性化に取り組むとの決意を述べられました。田中昌子熊本学園大学講師の記念講演は「やりたい！」が生まれる場づくりをテーマに、具体的事例を紹介しながらとてもわかりやすい講演でした。子どもの動機づけのメカニズム、子どもの動機づけを高める大人の役割、子ども会活動と動機づけについて解説し、子ども会活動は、子どもが主体、人との繋がりの中で成長する。自己効力感が高まり自己肯定感へと導くものであり、子ども会に社会の力を結集しようと呼びかけられました。

2日目は8つの分科会を実施、その後全体会で分科会ごとの発表があり、他のグループの検討結果について共有することができました。最後に熊本市から来年度開催の大阪府に引継ぎが行われました。

事務局だより

事務局員が令和6・7年度で3人も変わり、新メンバーでの1年が終わりです。リプロ武道館(県立武道館)での埼玉県知事賞の国21世紀郷土かるた県大会をはじめ令和7年度も埼玉連のすべての事業を実施することができました。たくさんの方のご支援とご協力にお礼申し上げます。

事務局では「不易と流行」を大切にして、次年度も「子ども達のために」サポートしてまいります。

令和8年度当初の主な行事予定についてお知らせします。

- 4月18日(土) 第1回理事会(浦和合同庁舎)
- 5月16日(土) 埼玉連総会(浦和合同庁舎)
- 5月30日(土) 子ども会安全啓発初級ファシリテーター養成講習会(浦和合同庁舎)
- 6月13日(土) 青少年指導者養成研修会①(長瀬げんきプラザ)
- 6月13日(土)〜14日(日) ジュニア・リーダー上級資格認定研修会I期(長瀬げんきプラザ)

6月20日(土) 育成者研修会(浦和合同庁舎)

編集後記

春の訪れとともに「彩の国21世紀郷土かるた」県大会が開催されました。今年から「リプロ武道館」が毎年恒例の会場となり、新たな幕明けとなりました。

今年の冬は昨年の猛暑と打って変わって大寒波に見舞われ、大雪と共にインフルエンザやウイルス性胃腸炎が猛威を振るい学校閉鎖となる地域もありました。そんな中、大会準備にご尽力された市区町子連の皆様、本当にお疲れ様でした。

厳しい状況下でも、子どもたちはこの日のために猛練習を重ね、白熱した試合や流した涙は、私たちに大きな勇気を与えてくれました。未来へ向けて素晴らしいスタートを切れたと確信しております。

PTA解散など子どもたちの活動には多くの課題があります。しかし、未来ある子どもたちのために、地域社会の皆様からの変わらぬご理解と温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

